広報 かじき

全ご家庭に，もれなく配布

第158号

44．10．9発行

発行所　加治木町役場
発行者　曽木隆輝
担当者　向江巧
編集者　中元邦夫
印刷所　吉屋印刷

（元気いっぱい伸び伸びと）

「日本の秋」をむかえて

秋のお彼岸を過ぎて10月に入ると，一般に生活のリズムが落ちつき，こどもたちも勉強に取り組む絶好の季節です。おとなも本腰を入れて仕事に打ちこめることでしょうし，主婦も家事に精出し，これから迎える冬の準備に何かと気を配らなければなりません。

衣　秋の日の1日は温度の差がはげしく，日中は汗ばむほどでも，夕方からぐっと気温がさがりますので，衣類の調節をおつくうがらずに。ことに幼児や老人のいる家庭の主婦は十分に気をつけてあげましょう。

食　「日本の秋」といわれるほど，天高く澄みいろいろな食物に恵まれた月。食欲がもりもり出てくるこのごろ。このよい季節に大いに食べ，栄養をつけるのは結構ですが，それに伴う運動をして，健康増進につとめたいもの…。

住　秋の大そうじは，新しい年へのそなえでもあります。取り入れで混雑した農家も，運動会や旅行，大売出しで忙がしかったお家も，これから年末にそなえましょう。

災害復旧に八百万円

新教育委員に有村さん

町議会から

定例第三回町議会は九月八日から十六日までの九日間、町議事堂で開かれ、一般会計の補正予算三千万円（予算総額は四億五千五百万円になる）や教育委員の任命など可決、同意しました。

おもなものは次のとおりです。

◇ 町総合振興計画審議会を設ける

町総合振興計画審議会は、町長の諮問に応じて、加治木町の総合振興計画の策定やこれらの実施計画にもとづいて行なわれる事業をおし進めたり調査などをすることになっています。

委員には町議員や団体の役職員学識経験者などの二十五人で組織されています。

◇ 教育委員に有村連さんを任命

町教育委員の川原光さん（小山田）が九月いっぱいで任期満了となるので、その後任として中野の有村連さん（61）を任命することに同意しました。

◇ 四十三年度町水道事業会計の決算を認定

町監査委員によって審査された昭和四十三年度の町水道事業会計の決算は、決算審査意見書をそえて議会に提出され、審議された結果、正しいものであるとして認定されました。

◇ 一般会計の補正予算

災害復旧費が、おも

農業用施設災害復旧費五百十一万円、道路橋りょう災害復旧費八百三十四万円　建物災害復旧費百三十六万円　学校施設災害復旧費八十四万円　農地費（県単農道新設）三百六十四万円　福祉センター建設費（不足分）六百三十四万円。

つまり、国から二百二十五万円町費で百三、四十万円。計三百六七十万円の設備が整いました。

とりあえず二年生の英語、数学の教育に使われることになりましたが、むかしの黒板方式から各生徒の能力を個々に引き出し、学力向上に大いに役立つものと、各方面から注目されています。

——広報メモ——

かん詰めの製造年月日の刻印ははじめの一字が西暦の末尾の数字つぎが月（Oは十月、Yが十一月Zは十二月）あとの二字が日付。

加治木中で文部省から新教育機器の受渡式

九月三日、加治木中学校で新しい教育機器の文部省からの受渡し式が行なわれました。県から松山教委指導課長ほか、数人の係りの人たちが来て、行船校長に機械を引き渡しました。

前にお知らせしたように、加治木中は南九州ではただ一つ、文部省の指定をうけ、百万円の電機器具による新しい教育方法を取り入れることとしたもので、加治木中の先生がたは機械の使いかたやその学習の準備に、夏休みも返上して勉強しました。

町では不足の施設をまた百万円以上つぎ足しました。その上、町長はさらに完全にするため、県に強くお願いし続けていましたところ、県でも町長の申し出を聞き入れ、予想を上まわって、さらに百二十五万円の器具を追加されることになりました。

国民年金協議会が発足

国民年金は、受給権者のものとして、権利の擁護や年金額の引き上げなど、問題の解決や事業の円滑な推進をはかろうと、本町に国民年金協議会が、このほど発足しました。

会長は宮永栄治さんに、事務局は役場の住民課にきまり、被保険者一人当たり年に十円、受給権者一人百円を、おさめてもらい、いろいろの事業を行ないますが、保険料の一年分以内の貸付けもできるようにしています。

保険料を定期におさめるお金に困るかたにも暖かい手を差しのべて、なるべく全部の加入資格ある町民のかたが、はいってくださって、やがての役に立てていただきたいと思います。

新漁場づくりに魚のアパート

加治木漁業協同組合では、黒川沖付近が加治木港の拡張工事のため、これまでの漁場として使用できなくなるので、新しい漁場づくりに張り切っています。

新漁場づくりは、まず魚を寄せ集め、すませること、つまり魚のアパート（魚礁）が必要だとしてこのほど新興地区（須崎）の沖あい約二百メートルのところに場所をきめ、アパート用の並型魚礁九十個を水深三十七メートルの海中に投入しました。

この並型魚礁は、一メートル立方の大きなもので、この投入作業には積載船やえい（曳）行船、クレーン船などで三時間あまりもかかりました。経費は、投入費ともで、だいたい一個あたり五千七、八百円かかっているとのことです。

まもなく、このアパートにタイやハマチがすみこみ、みなさんの食糧をにぎわすでしょう…」と、組合員は早くも新漁場に期待しています。

並型魚礁の投入作業

——須崎の沖で——

木田地区が優勝……

八十二頭の出品で大盛会

――町畜産品評会――

ことしの町畜産品評会は、このほど種馬所あとで開かれ、和牛など八十二頭が出品、これまでにない盛大な品評会でした。

審査の結果、大字別では木田地区が優勝しました。種目別の一等入賞者は、つぎのとおりです。

▣和牛生後8ヵ月～12ヵ月
緒方武夫（日木山）前田秋義（小山田）前畠春夫（西別府）

▣生後12ヵ月～16ヵ月
楠元正男（西別府）川床利夫（西別府）徳寄圀宗（木田）内村　実（西別府）今吉義則（西別府）

▣生後16ヵ月～21ヵ月
穂満三郎（木田）岩穴口亀吉（木田）坂元ヒデ（日木山）石原幸夫（木田）内村静也（西別府）

▣生後21ヵ月～32ヵ月
末吉正芳（木田）榎田芳子（日木山）内村光男（小山田）六反秀男（木田）児玉磯右エ門（木田）

▣種雄牛
外園貢（辺川）扇園敬次（木田）

▣肥育雄牛
下枝ミヤ子（木田）市野近良（小山田）高崎勝（小山田）末永秋男（木田）江口杉夫（木田）

▣肥育雌
高崎　清（小山田）末永吉宏（木田）豊村重夫（木田）

▣乳業未経産
穂満政行（木田）西村照雄（西別府）東川内秀夫（小山田）

▣乳牛経産
堂下光志（小山田）緒方　功（日木山）

▣大字別
優勝…木田地区　二位…辺川地区　三位…西別府地区

審査風景

郡畜産共進会の成績

▣和牛一類＝②緒方武男　②前田秋義

▣二類＝優等楠元正雄　②川床利男

▣三類＝優等穂満三郎　②岩穴口亀吉

▣四類＝優等末吉正芳　同榎田芳子　同内村光男

▣乳牛経産牛＝②緒方吉行

▣種豚＝優等柚木邑子　①岩沢義久

貯蓄増強特別運動

○農産物代金はひとまず貯蓄
○小さな貯蓄が未来をつくる

畑作農家の経営は養蚕で

農業構造改善事業の基幹作目の「養蚕」を本年度、町ぐるみでおしすすめることになりました。

畑作農家の経営は養蚕で、改善いたしましょう。

死傷した警防団に特別支出金を支給

申請期限は来年2月末

戦時中、防空に従事して死傷した警防団員および遺族等に、特別支出金が支給されます

これに該当するかたは、早めに町役場総務課の消防係へ申し出てください。

申請期限は、昭和四十五年二月二十八日までとなっています。

なお、くわしいことは直接、消防係（消防車庫二階）でおたずねください。

姶良地区農林推進協議会が発足

九月九日、県合同庁舎で郡内の各市町長、農協長、農委会長、森林、共済、経済　家畜などの代表者や県の出先機関のうち、農林、普及、保健の所長ら約二百名が集まり協議会がもたれました。

この結果、今後の姶良地区の農林業のすすめかた、ありかたなどについて、いっそう関係者が密接に話し合って行くことを申し合わせました。会長に曽木町長、副会長に市来原加治木農委会長と岩下溝辺農協長など役員をきめ、今後全体会議や幹事会、専門部会でこまかな企画をたてて、新しい時代への発足や進展に対処することになりました。

町の有権者は……

加治木町の有権者について調べてみますと、選挙人名簿の登録者数は、昭和四十四年九月十日現在で一万二千四百九十一人です。

これを各投票区別にみますと、次のようになります。

ご参考までに

投票区	男（人）	女（人）	計（人）
第1（町役場）	1.886	2.344	4.230
第2（性応寺）	775	1.009	1.784
第3（錦江小）	1.517	1.902	3.419
第4（永原小）	354	410	764
第5（ひなぼ）	106	117	223
第6（鎮守小）	178	202	380
第7（滝門小）	631	719	1.350
第8（中野小）	163	178	341
計	5.610	6.881	12.491

ご存じですか

選挙人名簿は住民基本台帳をもとに作成します

⬇

あなたの名前は住民基本台帳に載っていますか

⬇

選挙人名簿のもとになる住民基本台帳は町役場でお確かめください……！

▲ 葉たばこは公社員の手で鑑定

写真のページ

葉たばこ収納

町内の葉たばこ耕作者は１２６名で栽培面積は４２５ヘクタール。９月16日から葉たばこ収納が始まりました。ことしは昨年にくらべて品質がおとつているとのことですが，待望の収納代金を手にして，これでよい年が迎えられると一年中の労苦も忘れ，収納所には笑い声が続いていました。

▲ で年(来年)は、もちっと乾燥に気をつけっせえ…と、早くも話題は来年に。

▼ 等級の鑑定をうしろから、のぞきこむ耕作者たち。

▲ お年寄りを訪ね、ご長寿を祝う。（おばあさんの昔ばなしに耳を傾むける町長）

敬老の日

町内の各所で、ご老人たちの長寿を祝い励ます会が催されました。町青年団連協や婦人会有志は踊りで慰問しました。

▶娘さんたちのハンヤ節にウットリのご老人たち

いっこうに減らない

酒よい運転

動機は「つき合い」がトップ

あいもかわらず、酒よい運転による交通事故が最も高い比率を占めています。

ことしの一月から六月末までの間に、県内において発生した飲酒運転による事故の件数は二百五十四件ですが「飲酒の動機」は「つきあい」が九十件で「晩しゃく」「建築祝」の順となっています。

車を運転する人自身、または酒をすすめる人、さそう人の自覚のほどが、うかがわれます。

△車を運転するときは、酒をのまない。

▽車の運転をする人に、酒はのますまい

▽酒をのんでいる人に、車の運転をさせない

この三つのことに、お互いが徹することがたいせつです。

歩行者の保護を重点に

秋の全国交通安全運動

10月6日から10日間

秋の全国交通安全運動が十月六日から十五日までの十日間行なわれました。

実施された事項は

○正しい横断の励行と横断中の歩行者保護の徹底

○こどもと老齢者の交通安全の確保

○飲酒運転の追放

の三点を重点に一日に一つの目標をかかげ、集中的な運動が行なわれました。ことしの交通事故はこのまま進みますと、二年で倍増という、これまでにない悲惨な結果を招くことになりそうです。

このことは他人事ではありません。もっと自分たちの身近な問題として、この際、真剣に考え、まず自分を守るくふうをしようではありませんか。

この運動は、こんごも県民総ぐるみで行なわれます。みなさんも職域地域ぐるみで、この運動に参加しこの運動を契機に、ひとりでも犠牲者を減らすよう、ご協力ください。

道路の横断には

▽こどもに信号機の青、黄、赤の意味を教えるときは、黄色は注意を教えるだけでなく、次の青信号まで待つ、ことを教えましょう

▽幼児といっしょに道を歩くときは、おとなの右手で、こどもの手を引くようにしましょう。

▽安全地帯のない道路をやむなく横断するときは、交差点か、見とおしのよくきく場所を、えらびましょう。

▽道路を横断するときは、センターライン（道路のまん中）までは、歩きながら首を右に向けて右側の車に注意し、まん中まできたら首を左へ向けて左側の車、とくに運転手の眼をみながら渡るのが安全です。

学童の減少と学校の統合

町では、学校統合審議会を設けて、町内の学校の統合について調査、研究をすすめています。

戦後のベビーブームの波がとおりさり、児童生徒の数は、当時からするとかなり少くなっています

また、もう一つ新しい現象として、人口都市集中化のため、農山村地帯ではさらに、児童生徒の減少がめだち、それにつれて年ごとに学級数が減る現象が各地に見られるようです。これは、全国的な傾向として、現代の新しい問題となっています。

わたしたちの町でも、こうした現象が実際の問題として現われており、審議会の資料によると、昭和三十七年度の町内小学校の児童数は二千七百二人でしたが、四十四年度になると、千九百六十三人四十八年度（推計による）には千五百八十七人になります。三十七年度にくらべると、約千人も減ることになります。このことは約十年で千人、一年で百人づつ少くなるわけです。中学校の場合も同じように約八百人減となるようです

このように、町内の学童の数が少くなるため、小中学校では先生の数も少くなり教育上、問題もでてきて、こどもたちが不幸になり兼ねないことも考えられます。

県もこのことについて、とくに学校統合には力を入れ、六学級以下になる学校（復式学級をもつ学校）は統合を強くおし進める方針をたてています。

姶良郡内でも、すでに一市九町が学校統合を終えて効果をあげています。学童たちは、多くの先生やたくさんの友だちと、施設や設備の充実、完備した、大きな学校で授業をうけています。

審議会では、次の世代をになう加治木のこどもたちが、伸び伸びとした教育の場で、十分な教育効果が、平等に得られるようにするために、いろいろな面から調査し審議を続けています。

こどもたちの将来のために、いろいろと、ご協力ください。

世帯人口の動き

（44年9月1日現在）

◎	世帯数	5.583戸
◎	人口	18.923人
	男	8.868人
	女	10.055人

◎ 8月中の自然増減

出生	23	死亡	13
転入	153	転出	170

国民年金の保険料

前納すると割引き

国民年金の保険料を納めるのに毎月または三カ月ごとに保険料を納めるのは、めんどうだという人や一定の時期しか収入がないという人のために、将来分の保険料をまとめて前払いすることができる、という前納制度があります。

この前納制度を利用した場合前納しようとする保険料について年五分五厘の割合で計算した割引きがあり、また、毎月あるいは三カ月ごとに納めるという手数がはぶけてたいへん便利です。

この保険料の前納は、原則として、年を単位として行なうこととされています。

この保険料の前納制度について割引きの金額や納付方法など、また、わからないことがありましたら、町役場年金係におたずねください。

災害見舞金制度をつくりました

町では、火災や風水害で災難をうけた町民のかたに、つぎの額以内のお見舞金を差し上げるきまりを、つくりました。

■死亡…二万円（未成年者は一万円）
■負傷…五千円
■住家…一万円（現に自分が住んでいる自己有のものが全消滅）
■家財…五千円（滅失）

きわめて少額ですが、町の微意をあらわすことと、したものですただ故意や重大な過失と認められるものは、のぞいています。

時間厳守など申し合わせる

町内の各種団体長懇談会

「さらに住みよい加治木をつくるには、どうすればよいか」というテーマのもとに、町内にある各種団体の長と、地区公民館長との懇談会を開いた結果、いろいろの話題の中から、つぎの三項目を申し合わせ、各団体が中心となって運動を展開することになりました

□時間の厳守

始まりは、もちろんのこと、終わりの時間も予告して守りましょう。

□献杯を慎しむこと

酒の座でよくあることですが、衛生的にも健康的にも、献杯を慎しんでマイペースで飲みましょう。

□町内の美化運動

庭さきの清掃、三ない運動、花いっぱい運動、河川を美しくする運動などを実践して、もっと、きれいな町をつくりましょう。

（参加した団体名）
町P連、町婦人会、老人クラブ、ロータリークラブ、町青協、地区公民館長会。

11月から飼犬取締り条例

○犬はつないで飼うようになりました。つなぐ場所は常に清潔に
○飼い犬に道路などを、よごさせないようにしよう。
○かむくせのある犬は、口輪をつけて飼いましょう。
○捨て犬はやめよう。
○見やすい所に（犬）の表示をしよう。
○飼い犬が人をかんだら届けよう

郷里からの来訪をよろこぶ町内出身のお年寄り（横川長安寮で）

養老施設訪れ

町内出身者を慰問

「ありがたいことです」

町社会福祉協議会では「敬老の日」のあと、蒲生町「南天園」と横川町立「長安寮」隼人町「春光園」「谷山「寿光園」四つの養老施設を訪れ、これらの養老施設で生活し余生を送っている町内出身者十六人にお祝いを贈り、「これからも、もっと元気で、楽しい生活を送ってください――」と慰め励ましました。

町内出身のお年寄りたちは「ありがたいことです。遠いところまでわざわざ訪ねてもらい、お祝いまでいただいて……ありがとうございます」と感謝していました。

――交通メモ――

もし交通事故にあったら必ず警察に届け出て、事故の状況証明書を作ってもらうことがたいせつ。加害者との話し合いはそれから。

加中PTAが全国表彰

全国PTA大会で

昭和四十二年の夏、PTAの県の公開を引きうけて以来、部落PTAや少年パトロール、会員の研修活動など、活発な運営を展開している加中PTAは、このたび開かれた全国大会で、文部大臣および全国PTA協議会の表彰を受けました。

全国から選ばれた十三の中学校の一つに入ったわけで「歴代役員の努力と会員のみなさんの協力のたまものです」と、酒匂会長、行船校長以下よろこびにひたっています。

さらに、今後の精進を期待しましょう。

農薬による事故をなくしましょう

本田さん入部さんら表彰

国民年金記念式典で

九月十日、鹿児島県文化センターで、国民年金制度発足十周年記念式典が催され、県下から関係者二千人以上が集まって、盛大な式典、記念講演などが行なわれました。

式典の席上、県下の優良国民年金納付組合や年金担当職員の表彰があり、本町の国民年金納付組合で、もっとも実績をあげている柳田部落納付組合（組合長＝本田菊江）や永年、事務面で優秀な町役場住民課の入部恵美子さんなど表彰されました。

おめでとうございます。

図書を買ってください

図書館へ寄付

町内柳田の新納孝子さんから、図書を買って読者に利用させてくださいと、このほど五千円を町立図書館に寄付されました。

厚くお礼申し上げます。

町美術展

11月14日（金）
↓
11月16日（日）

スポーツ・ニュース

【ソフトボール大会】参加六チームで八月十日、地区大会への予選をかねて加中会場で実施。
優勝＝町役場　二位＝西別府

【剣道大会】参加は九団体（百五十人）八月十日加中で実施。
▽地区対抗　優勝＝竜門東元地区
二位＝城東地区
▽高校の部　優勝＝加工高
二位＝加高校
▽中学校の部　優勝＝加中A
二位＝加中B

【婦人バレー！ボール大会】今年度地区大会に重点をおいて行なわれブロック大会を、町大会として開かれた。参加三十六チーム（約五百人）
▽竜門ブロック大会（十一チーム約三百人が参加）午前に地区大会、午後ブロック大会。
優勝＝小田倉　二位＝中郷
▽永原ブロック大会（六チーム参加。永原第一、第二、辺川とも地区大会を行ない、それぞれ一チームを選んでブロック大会を開く。
優勝＝菖蒲谷　二位＝辺川
▽錦江ブロック大会　各地区大会参加十三チーム。各地区から選ばれた三チームでブロック大会を実施。
優勝＝錦江第二地区　二位＝錦江第一地区
▽中野地区大会　戸数が少ないのに六チームが参加
優勝＝中野部落
▽城西地区大会　二つの連合チームが参加。
優勝＝柳田、於里、新富団地の連合チーム
▽柁城ブロック大会＝ほかの三地区終了後、実施の予定。

三つの少年団が参加

スポーツ少年団栗野大会

ことしは菖蒲谷、市来原のスポーツ少年団の初参加によって、追スポーツ少年団員も、大張り切り総員四十五人の野外活動隊は、涼しさと絶景の栗野嶽分校で、二泊三日のキャンプを営みました。

栗野町の三スポーツ少年団との交歓会などもあって、からだをきたえ、規律をまもり、仲間づくりを深めるための大会は、アッというまに過ぎてしまいました。

自分たちで、たいたご飯のおいしかったこと、温泉までの強行軍時のたつのも忘れるほどの、友だちとの話し合いなど、すばらしい思い出で、いっぱいの大会でした

来年は、もっと多くのスポーツ少年団の参加を望んでいます。

町役場写友会が

高齢者に写真を贈る

町役場職員の写友会（会員十三人、会長水道課重昭実）では、町内にいる九十歳以上の高齢者十七人を訪問、写真を撮り、四つ切り大に引伸して敬老の日に贈る計画をすすめていました。

町では当日、町長、福祉事務所長、婦人会長などが、高齢者を訪問したので写友会からの写真も額縁に入れてお祝いといっしょに贈りました。

お年寄りたちは自分の写真をながめ「あぜよかふに、撮れおんさオ」と大喜びでした。

四種目に優勝

姶良地区体育大会で

三年後に国体を控えて、今年度から姶良地区体育大会を行なうことになり、さる八月二十三、四日の二日間にわたって、加高、加工高、加中を主会場に開催されました。

本町からも百六十人ちかい選手が参加、十四種目のうち、陸上など四種目に優勝し好成績をおさめました。

来年は、国分市で行なわれる予定です。

優勝＝陸上、卓球、庭球、婦人バレーボール。
二位＝サッカー
三位＝男子バレー（六人制）

町旗を先頭に入場する選手団

香典返しを寄付

町社会福祉協議会へ

香典お返しのかわりに、ご寄付をいただきました。厚くお礼申し上げます。

金額　ご遺族　故人
三千円　柳田　長谷弘（次男博義）
三千円　ヒナバ　坂元国雄（妻タカ）
二千円　錦江町・向江正清（義叔母山下イセギク）
五千円　長谷　緒方正吉（父萬治）
三千円　中福良　岩穴口敏子（父茂）
五千円　ヒナバ　壱岐始利（祖母マツゲサ）
二千円　桃木野　後藤勝己（母シヅ）
三千円　東諏訪　水流田侃（次男安男）
一万円　本町　立山　亘（母ソデ）
五千円　田中　日高宗一郎（母ツタヘ）
五千円　川内　東川内弘（妻フミ）
三千円　岩原東　浜田直一（妻トク）
五千円　須崎　宮路サダ（夫兼吉）
五千円　里下　川崎清二（妻キクマツ）
二千円　西浦西　岩沢正雄（兄親夫）
二千円　上川内　上野初男（母タケ）

育英資金へ

三千円　川内　東川内弘（妻フミ）
三千円　里下　川崎清二（妻キクマツ）
五千円　城　岩沢和哉（災害見舞のお礼）
千円　萩原　向江タツ子（特別寄付）

○九月三十日までのご寄付を掲載しました。